

会社名	株式会社 Rolling-C
所在地	〒400-0034 山梨県甲府市宝 2丁目7-11
設立日	1996年4月15日
団体 URL	http://www.rolling-c.co.jp
企業・団体のビジョン、ミッション	<p>Rolling-Cの”C”は、クリエイティブの頭文字の”C”文字通りのクリエイティブ事業は販売促進ツールの制作事業にとどまらず、その原動力とノウハウを「地域活性」に向けていくという方向に進んでいます。</p> <p>そしてその事業を代表するのは「地域の良品をプロデュース」する事業。言い換えれば「地域商品のブランディング」です。地域の歴史や風土から生まれた「地域の商品」は、ナショナルブランド商品に比べると、オリジナリティの豊かさや、その地域に備わっている「優位性」にあふれています。Rolling-Cは、真剣に、丁寧に、情熱を込めてつくられた地域商品の応援団を目指しています。</p>
創業の経緯・社会的背景・役割	<p>1996年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●（有）フォースデザインルーム設立 <p>2000年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マーケティングノウハウを加え拡大。プランニングを起点にした「広報・広告分野」「販売促進分野」「CS推進分野」に着手 <p>2005年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●（有）Rolling-Cに社名変更 <p>2006年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●増資に伴い、株式会社に組織変更 <p>2007年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域ポータルサイト運営開始地域貢献（CSR）型のコンテンツ事業（トークタックルなど） <p>2008年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山梨県の地域資源・農商工連携などのセールスプロモーション事業を受託 <p>2009年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本社1Fに地域ブランドアンテナショップをOPEN ●中央自動車道双葉SA（下り）に、同コンセプトの物販・イートインの販売を主力とした店舗OPEN ●内閣官房認定「地方の元気再生事業」で盛岡・新潟・能登・長崎に出展 <p>2010年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山梨県主催の物産展を「ヤマナシ良品」の名称で、渋谷パルコに出展実施。プラン・プロデュース・ディレクション ●「ヤマナシ良品」甲府駅前店を、山交百貨店B1FにOPEN ●山梨ブランド醸成のための経産省認定事業「逸品山梨」を山梨県

	<p>商工会連合会と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中小企業市場開拓事業甲斐の国マルシェ・日本全国物産展など様々なイベントの企画・出展 <p>(現在まで約60以上のイベントプロデュース運営実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2011年 「ヤマナシ良品」AEON甲府昭和モール店OPEN ●横浜駅西口相鉄ジョイナス内QEEN' S伊勢丹にEVE(店舗名)OPEN ●2012年 中央自動車道双葉SAの事業形態の変更による「果物厨房」リニューアルOPEN。 ●2013年地域力活力支援事業 中小企業販売力強化事業に採択 ●石川県奥能登の地域連携「ニッポンの里山里海小さな市場」出店 <p>2016年7月～「一般社団法人 やまなし美味しい甲斐」 県が組織化を支援し、6次産業化の商品のインキュベーション組織として設立した法人を支援。</p> <p>2018年～2020年事務局として運営 2018年 ジェイアールグループと連携して甲府駅でアンテナショップを2年間運営 2020年6月～ジェアールグループと連携して武蔵小金井駅にアンテナショップ運営開始</p>		
資本金	金2987万3013円		
事業内容	<p>クリエイティブ事業全般 地域ブランディング事業 マーケティング事業</p>	業種	マーケティング・小売業
代表者	代表取締役社長 小沢 球美 (オザワ タマミ)		
プロフィール (代表者経歴/強み)	<p>小沢 球美 (オザワタマミ) ミラサボ専門家登録 山梨県出身。大学卒業後、都内の金融機関勤務、西友、TBS、フリーデザイナーを経て、結婚を機に帰郷。 1996年広告デザイン会社を設立、2005年マーケティング・企画会社として事業拡大 県内外の地域資源認定企業、経営革新事業認定企業、6次化認定企業、小規模事業者などを中心に地域商品の販売促進・ブランディング・販路拡大まで一貫した支援を実施中。 <主な活動実績> マーケティング企画会社Rolling-Cを立ち上げ、クリエイティブ事業を展開する中、平成21年度 内閣官房地域活性化統合事務局「地方の元気再生事業」採択事業として「やまなしキッズカンパニープロジェクト」を実施。県産品をブランディングしていく「ヤマナシ良品」(商標登録)事業を手掛け、県内、首都圏でヤマナシを元気にするテストマーケティングショップを展開。 昨年度この事業が全国商工会連合会の中小企業販売力強化支援事業に認定され現在推進中 2015年、2016年とふるさとプロデューサー育成支援事業で山梨県の受入先に認定。 http://furupuro.net/program/88</p>		

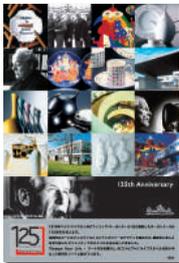
<p>メッセージ</p>	<p>地域資源を知る。日本の地域を知る。物流を知るをコンセプトに「頭で考えず足で考える」を大切に地域ブランド事業に着手してから8年間走り続けて来ました。 ナショナルブランドに負けない地域ブランドの構築！クリエイティブの視点でスピーディに解決プランを創造・カタチにすることが得意技です。 皆様も一緒に新しい地方の魅力を創造・具現化・発信し、地域を元気にしていきます。</p>
<p>従業員数</p>	<p>8名</p>
<p>組織の雰囲気</p>	<p>全体的には「自由奔放」な雰囲気。その自由さ、奔放さの理由は、本来のクリエイティブ気質だと思います。しかし、仕事に対する姿勢は、その自由奔放さとは正反対で、厳格で妥協を許さない真っ直ぐな面を個々が持っています。言い換えれば、個々の得意技とも言える技術と主義、経験豊富で個性的な人間能力と倫理観が際立つ社風なのだと思います。</p> 

- 紙媒体・サイン媒体における企画・編集・デザイン
- web・IT媒体における企画・デザインとシステム構築
- 映像媒体における企画・撮影・編集とシステム構築

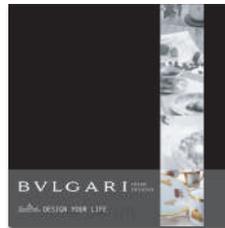
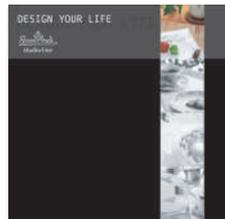
紙媒体の企画・編集・デザインの例

1996

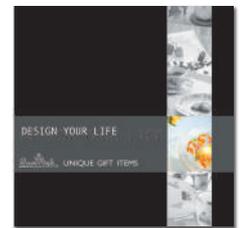
ローゼンタールのSPを受注した例



HMVのSPを受注した例



都内不動産デベロッパーのSPを受注した例



ダンヒル・モンブランのSPを受注した例



地方メーカーなどのSPを受注した例



マーケサイトの一例



Web・映像の企画・編集・デザインの例

販売サイトの一例



全国展開団体企業の一例



地方企業の一例



地方公共団体の一例



2015

- 紙媒体・サイン媒体における企画・編集・デザイン
- web・IT媒体における企画・デザインとシステム構築
- 映像媒体における企画・撮影・編集とシステム構築

6次産業化

●ぶどう園ブランディング



●青果店卸のブランディング



●社団法人のブランディング



- 広報・広告分野のプランニング・マーケティング・デザイン・システム構築・ツール制作、実施。
- 販売促進分野のプランニング・マーケティング・デザイン・システム構築・ツール制作、実施。
- CS分野のプランニング・マーケティング・デザイン・システム構築・ツール制作、実施。
- 地域活性化・環境プロモーション・子育て支援などのプロモーション施策の実施

1996

ガス会社さまの一連のソリューション例

クリエイティブな視点に立ったソリューション施策の実施

CSツール



HP



CS寄贈グッズ



CSツール



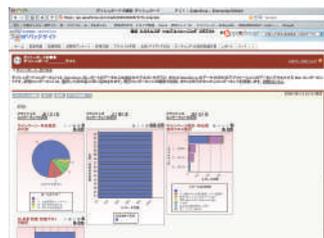
SPグッズ

CSグッズ

訪問・CSR活動・ミニイベントの実施



SalesForce活用によるCS施策



2015

ヤマナシ良品

事業コンセプト

ヤマナシ良品は、株式会社Rolling-Cのローカルブランド事業部から、リテール事業の分社化によって2011年に誕生したLLC(合同会社)。右のブランドロゴ(登録商標)をVisual Identityに、山梨県産の様々な品のブランディングと販売、およびその仕組み構築を、県内外のアンテナショップで展開してきました。

2015年は、その事業部名称を、「ヤマナシ良品premium」とし、山梨県内のより優れた価値観の高い商品に特化した事業に取り組んでいきます。



登録商標

ヤマナシ良品PREMIUM

ヤマナシ良品premiumは、その新しいviを山梨ゆかりの「風林火山」を題材に四つの文字をピクトグラム化し旗印として掲げようと計画しています



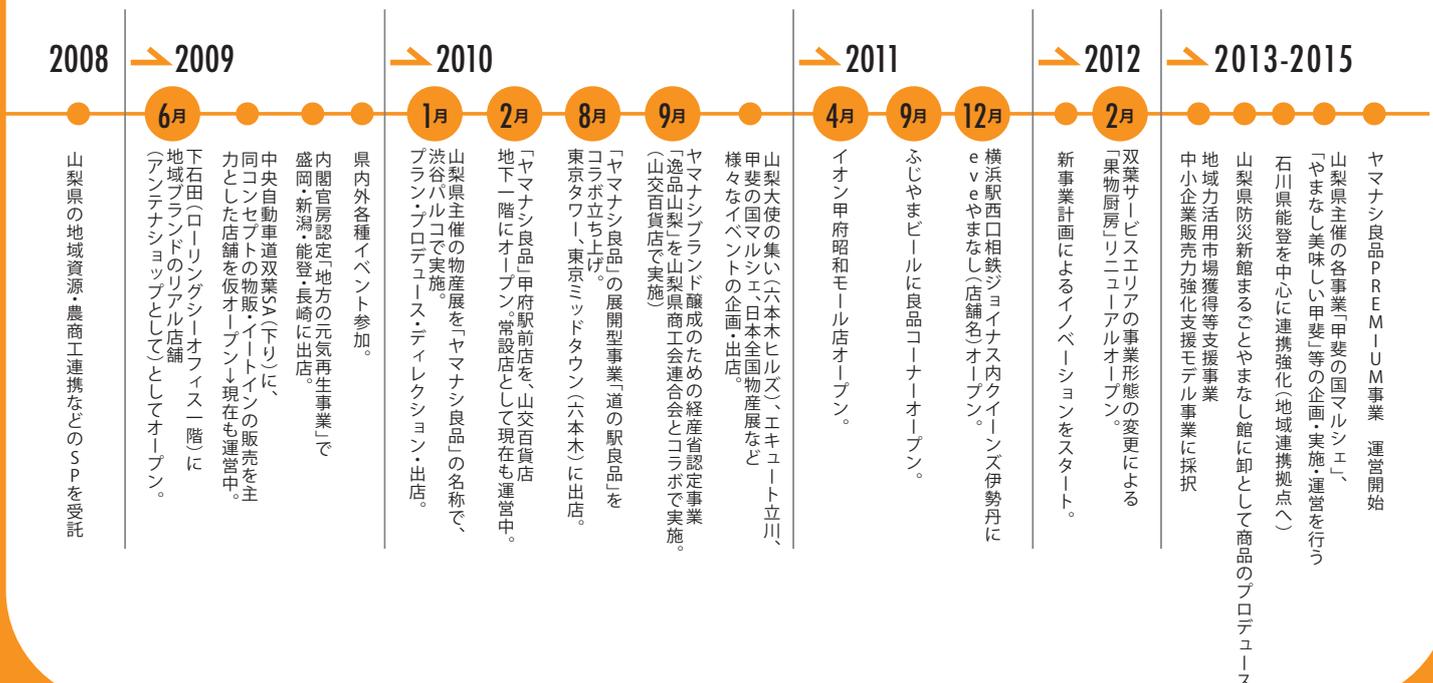
俊敏如風 静寂林如 情熱如火 存在如山

風のようなスピード感
林のような静寂さ
火のような情熱
山のような存在感
ヤマナシ良品プレミアムの旗印です

商品コンセプト

“premium”のコンセプトは、ローカルブランドであり、優れた商品であり、従って価値観の高い商品であること。そしてそのための追い風となる条件は「地域アドバンテージ」、山梨という地域が持つ商品の優位性です。調査の結果、葡萄・桃に代表される果実、その加工品の代表であるワインなどが圧倒的に「山梨産」の優位性が高いことが検証されました。さらに、「首都東京に隣接しながら、山紫水明に恵まれた自然環境の豊かさ」が挙げられました。これは特に、生産される様々な食品において「国産」というブランドに代表される「安心・安全・本物感」に繋がっており、こういった要素を商品コンセプトとした「premium」商品が、私たちの目指すコンセプトです。

ヒストリー



ヤマナシ良品

地域資源認定商品等のコラボ商品

企業・団体様協同でのイベント・マルシェ出展、開催



ワインジャムシリーズ(デザイン、プロモーション)



2010年1月:渋谷パルコ『ヤマナシ良品』山梨県主催の物産展へ出展



2010年8月:東京ミッドタウン×東京タワー『道の駅良品×ヤマナシ良品』催事出展



山梨県富士吉田:ふじやまビール内ヤマナシ良品3776



山梨県:ヤマナシ良品



山梨県:ヤマナシ良品 LIFE&GIFT AEON甲府昭和店



横浜西口駅:クイーンズ伊勢丹内eveやまなし



中央道双葉サービスエリア内くだもの厨房 双葉S.A.店



山梨県:池袋 全国物産展



山梨県:商工会連合会 逸品山梨×ヤマナシ良品

地域製品の販売促進

地域製品を使ったオリジナルメニュー



地域シェフとコラボレートしたオリジナルランチ「シェフランチ」:甲府駅前店で実施



「ヤマナシ良品」オリジナル「山ごはん」シリーズ

ヤマナシ良品

店舗出店とイベント出展における軌跡

イベント/催事
 店舗

2009

「ヤマナシ良品」
双葉SA店



中央自動車道双葉SA(下り)に、同コンセプトの物販・イートインの販売を主力とした店舗を仮OPEN→現在も運営中。

キッズカンパニー
In盛岡・新潟・能登・長崎



内閣官房認定「地方の元気再生事業」で盛岡・新潟・能登・長崎に出店。

やまなしサポーターズ
倶楽部交流会



六本木ヒルズハリウッドホールにて開催の「やまなしサポーターズ倶楽部交流会」に参加。

やまなし こどもの城フェスタ
with ハッピースマイル
マーケット



アイメッセ山梨で開催されたやまなし こどもの城フェスタF@*E! ハッピースマイルマーケットに参加。

2010

「ヤマナシ良品」
甲府駅前店



「ヤマナシ良品」甲府駅前店を、山交百貨店B1FにOPEN。常設店として現在も運営中。

「道の駅良品」コラボ
In 東京タワー



「ヤマナシ良品」の展開型事業「道の駅良品」をコラボ立ち上げ、東京タワーに出店。

「道の駅良品」コラボ
In ミッドタウン



「ヤマナシ良品」の展開型事業「道の駅良品」をコラボ立ち上げ、東京ミッドタウン(六本木)に出店。

経産省認定事業!
「逸品山梨」



ヤマナシブランド醸成のための経産省認定事業「逸品山梨」を山梨県商工会連合会とコラボで実施(山交百貨店)。

ニッポン全国うまいもの市
in エキュート立川



エキナカ商業空間『G+H*!立川』にて、期間限定ブース出店。

「ニッポン全国物産展」!
2010 In 池袋



池袋サンシャインシティ ワールドインポートマート展示ホールAにて、全国の逸品が集まるイベントに山梨県ブースにて出展。

「ワイン列車」!
多摩モノレール立川北駅



多摩モノレール「ワイン列車」運航に合わせ、立川北駅にて「ヤマナシ良品」1日販売。

「甲斐の国マルシェ」
2011 in 新宿



甲斐の国マルシェ2011、今年は山梨～東京に行く際の玄関口である新宿で開催。

2011

「ヤマナシ良品」
甲府昭和店



「ヤマナシ良品」甲府昭和店を、AEON甲府昭和モールにOPEN。常設店として現在も運営中。

「FuFU フ・フ」
in エキュート立川



エキナカ商業空間「エキュート立川」にてヤマナシフルーツ「FuFu」期間限定ブース出店。

「ヤマナシ良品」3776店



「ヤマナシ良品」3776店を、ふじやまビールにOPEN。常設店として現在も運営中。

「ヤマナシ良品」横浜店



県外常設1号店となる「ヤマナシ良品」横浜店を、横浜駅西口相鉄ジョイナスB1クィーンズ伊勢丹横浜店にOPEN。常設店として現在も運営中。

ヤマナシ良品

店舗出店とイベント出展における軌跡

■ イベント/催事
■ 店舗

2012

「くだもの厨房」
双葉SA店



中央自動車道双葉SA(下り) スナックコーナーを「くだもの厨房」としてプロデュース。常設店として現在も運営中。

「食育丸の内」
In 丸ビル



丸ビルで開催の「食育丸の内」にて、「第7回青空マルシェ×初秋の和みマルシェ」にヤマナシ良品がブース出展。

「のもの」JR上野駅



JR東日本地域再発見プロジェクト初のコンセプトショップ「のもの」にて、山梨県の地域産品を集めたヤマナシ良品の特設ブースを出展。現在も商品継続販売中。

「山梨和飲市場」横浜店



横浜店を、「山梨和飲市場」としてリニューアルOPEN。常設店として現在も運営中。

2013

「くだものマルシェ」
山交百貨店



山交百貨店1F店頭にて「くだものマルシェ」を運営(7月～10月)。

「B級ご当地グルメよっ
ちやばれ市@ひうふ」



山梨県近隣のB級ご当地グルメの出展団体がたくさん集まるB級ご当地グルメよっちやばれ市【伊】inこうふに出店。

「かもめマルシェ」
In 横浜バイクオーター



「山梨和飲市場」の一日限定出張販売イベントに参加。

「ニッポン全国物産展」
2012 in 池袋



池袋サンシャインシティ ワールドインポートマート展示ホールAにて、全国の逸品が集まるイベント「ニッポン全国物産展」山梨県ブース出展。

やまなし物産展！
@セントレア



中部国際空港(セントレア)にて開催された「やまなし物産展 in セントレア」に出展。

メイドインヤマナシフェア
2013 春



韮崎市商工会主催 観光キャンペーンの一環として相鉄ジョイナスB1F『クイーンズ伊勢丹』入口催事スペースにてメイドインヤマナシフェアを開催。

中小企業中央会祭り
In アイメッセ山梨



山梨県中小企業団体中央会が主催し、県内の中小企業が出店する春の恒例イベントに参加。

桜祭り
In 能登



地域間連携より生まれた「能登良品」との交流販売として、能登桜祭りに出店。

地域再生への取り組み

『地域需要創造型等企業・創業促進事業』 第二創業事業促進補助金

事業のテーマを「ヤマナシ良品からジャパン良品へ」と名付け、山梨から全国各地域の連携等を目的とした事業展開を推進しております。

厚生労働省 ふるさと雇用再生特別基金事業



キッズカンパニー 子ども達の職業体験を通じ地域活性化に結びつける



平成21年度 内閣官房地域活性化統合事務局
地方の元気再生事業 採択事業



実施した取組の内容

取組1 やまなしキッズカンパニー
「中心街キッズマーケット」

【実施内容】

過疎化が進む中心商店街が実施するイベントに「中心街キッズマーケット」として参加することにより、地域から始まる、企業・子供たち・地域に暮らす人たちの心に元気を醸成する。
(参加企業27社。参加した子ども148人。)

【イベント集客】

25,000人。(マーケット売上げ1,005,570円。)89人からアンケートを収集。



▲中心街キッズカンパニーの様子能登からの。地域間交流として能登からの参加企業もあり、会場は大いに盛り上がりを見せた。

取組2 やまなしキッズカンパニー
「全国キャラバンツアー」

【実施内容】

やまなしの地域資源を活かした商品の宣伝広告、全国の地方に向けキャラバンツアーを実施。

- ①北陸能登「石川県穴水町」: 穴水まいもんまつり秋の陣会場地
 - ②東北「岩手県盛岡市」: 盛岡市肴町商店街
 - ③甲信越「新潟県新潟市」: マルシェジャポン会場万代島魚市場跡地。
 - ④九州「長崎県長崎市」: 長崎市浜町商店街。
- 全国4地域を4チームで実施。

山梨の企業(主にメーカー)約30社。商品アイテム数約70アイテム。地方間の具体的な商品の流通は、北陸能登の穴水町との連携が確立(能登でもキッズカンパニーが誕生した)し、2010年1月30日31日に、穴水町「まいもんまつり冬の陣」に参加。参加した子ども17人。マーケット売上げ565,520円。売上げ対前年比(去年はキャラバンは実施しなかったが...)405%。



▲全国キャラバンツアーの様子。地域のヒト、コト、モノの取材も含め各会場での販売までを行った。

キッズカンパニー事業から得たもの

大きな声をはりあげる子どもたちの顔。それに触発されて動き出す大人たち。窓の外に流れていく日本の美しい季節。商品を吟味し笑顔で買っていくお客様。次はもっとこうしようと真剣に語り合う顔顔顔…
地方元気が失われつつある世の中ゆえの元気再生の「復活策」それがキッズカンパニーであったと思う。キッズカンパニーを通じて、実は一番元気をいただいたのも私たちだった。この事業に関わっていただいたすべての方々に感謝とエールを一緒にお贈りしたい。本当にありがとうございました。



キッズカンパニー 子ども達の職業体験を通じ地域活性化に結びつける



平成21年度 内閣官房地域活性化統合事務局
地方の元気再生事業 採択事業

中心街キッズマーケットチラシ

2009 やまなし県キッズカンパニープロジェクト
今年も「中心街キッズマーケット」と「キッズキャラバン」

KID'S COMPANY 2009
キッズカンパニー 10/17

中心街キッズマーケットは
甲府大好き祭りと
コラボ開催

2008年からもう一度実施したキッズカンパニーが今年さらにはスクールアップ。参加企業は「山梨の資源を活用した活性化」をガンバる企業。ヤマナシの企業・コミュニティ・行政の連携により、「**地方の元気な心の再生**」を目標にして、10月17日甲府大好き祭りとコラボした「**中心街キッズマーケット**」と、元気なヤマナシを積極的に宣伝するツアー「**キッズキャラバン**」を実施します。ぜひご参加ください!!

**地方の
元気再生
採択事業**

「地域のいちばん資源は、地域に暮らす人たちの元気な心」
キッズカンパニープロジェクトはヤマナシの元気をつくる活性化広域形成計画です。

「中心街キッズマーケット」
今年の中心街キッズマーケットは、甲府大好き祭りとコラボレーション。みんなで1DAYマーケットを楽しもう。
※詳しくは申し込みのみは要する

「キャラバンツアー」
山梨自産のモノコトを伝えるためにキャラバン隊を編成。東京・北陸・九州などへのキャラバンツアーを実施する予定。
※キャラバン隊は中心街キッズマーケット参加チームから選出

詳しくはキッズカンパニーWebサイトをご覧ください。☎ <http://www.lb-club.net/kofu-kids>

キッズキャラバン:全国4箇所を巡り地域間交流を行った

KID'S COMPANY
全国キッズキャラバンツアー

平成21年度 内閣官房地域活性化統合事務局
地方の元気再生事業 採択事業
やまなしキッズカンパニープロジェクト

2009 11/7-8
盛岡青町商店街

2009 10/3-4
能登

2009 11/14-15
新潟マルシェジャン

2009 11/21-22・23
長崎・ハマスカ

キッズ大使たちといっしょに

浜町商店街に
山梨+能登の特産品を集めた
ヤマナシ+能登食品市場開設

浜町・ハマスカコラボ企画
寒つみ木ミミズマーケットショップ

山梨のヒノキの製材材でつくった足湯。甲府で、みんながつみ木を愛しむイベントを1週が30分程度の3種類、マーケットショップ

やまなしキッズカンパニー-最寄事務局 株式会社Rolling-C |
詳しくはキッズカンパニーWebサイトをご覧ください。☎ <http://www.lb-club.net/kofu-kids>



能登での新聞掲載記事

平成21年度 内閣官房地域活性化統合事務局
地方の元気再生事業 採択事業

目指すべき地方再生の全体構想
「地域のいちばん資源は、地域に暮らす人たちの元気な心」

「甲府市中心街活性化を子供たちと企業で。」を目的にH20.8に自力で実施したキッズカンパニー。第二回目の今年度は、参加企業を地域資源活用支援プログラムや、農工商連携支援の認定企業をはじめとした、山梨の資源を活性化させようとがんばる地元企業約30数社（予定：昨年は15社）と、県内の小中学校の子供たち約200名（予定：昨年は52名）とのマッチングで実施。自治体・公共団体・民間企業・住民のより強い連携により、地方の元気な心の再生を目標に掲げます。

具体的には、過疎化する甲府市中心街で10月17日に実施される「甲府大好き祭り」（集客約2万人）の1コンテンツとして実施するイベント「中心街キッズマーケット」と、編成されたキッズカンパニーチームが全国に向けて山梨の宣伝広告を行う「キャラバンツアー」。そしてこの二つの取組を皮切りに、「やまなしブランド活性化を目的とした“やまなしキッズカンパニー”という地域応援団を形成」していくという3つの事業を推進しております。

イベントによる賑わいの創出

- 商店街活性化プラン：YAS(やまなしオールスターズ)による甲府中心街活性化の活動



- 環境啓蒙
キッズエコマイアート展2009
ざぶん賞2008山梨地区表彰展示会



イベントによる賑わいの創出

●2014年8月23日(土)～2014年8月24日(日)
甲斐の国マルシェ2014×Hakko(発酵)イベント開催

甲斐の国マルシェ2014(山梨県)、YAS(やまなしオールスターズ)、山梨生涯学習センター、楽つみ木、山梨ジュエリーミュージアムが合同で「Hakko(発酵)イベント」を開催。



●2014年8月23日(土)
第42回全国アマチュアオーケストラフェスティバル甲府大会 レセプションパーティー

第42回全国アマチュアオーケストラフェスティバル甲府大会のレセプションパーティーにおける会場内配置手配と食事、試飲のワインのプロデュースを行った。



イベントによる賑わいの創出

●山梨 甲府駅前通り活性化計画 『ちょうちん横丁に灯りをともそう』:2008年12月1日(月)～2009年1月30日(金)

甲府駅前銀座南通りちょうちん横丁共栄会加盟店が2008年12月1日(月)～2009年1月30日(金)に山梨県内で活躍中のクリエイター(デザイナーやイラストレーター)からちょうちん横丁に飾る"シンボルアート"を広く募集しました。



「ちょうちん横丁」シンボルアート募集チラシ



点灯式に向けての打ち合わせ風景



ちょうちん横丁加盟店看板



「ちょうちん横丁」シンボルアート募集看板

2008.12.01ちょうちん点灯式



ちょうちん横丁の出入り口付近



当時の甲府市市長 宮島氏をはじめ、甲府市で活躍される企業の代表の方々にお祝いの言葉を頂戴しました。



地元甲府市出身のシンガー「JINKO」さんもゲストとして参加。歌のほかにも地元への熱いエールを頂戴しました。歌が始まるとより賑やかさが増しました



公開されたシンボルアート募集の看板はこの点灯式から募集を開始しました



イベントによる賑わいの創出

- 駅前通活性化:2014クリスマス企画 葡萄酒 DE NIGHTIN KOFU
2014年12月23日(火)～2014年12月25日(木)



チラシなどの各種告知物



地域活性化のフリーペーパーもこのイベント時に発行した

【イベントの様子】ちょうちん横丁のほか、隣接する山梨県防災新館Fやまなしプラザと連動して葡萄酒、音楽のイベントが行われた



全国商店街振興組合連会
平成25年度 地域商店街活性化事業(にぎわい補助金)

地域アドバンテージの高い「ワイン」と、若者層の興味が深い「音楽」をテーマに
甲府市の中心街へと続く玄関口である「南口」の活性化の「ソフトウェア」的位置付けの定着化

今回のイベントを実施を皮切りに、広い範囲に周知され、商店街を訪れる人が増加することが期待できます。イベントによる一過性の増加ではなく、今後は近隣商店街も交えたイベントとして拡大することを将来計画しています。

※イベントの継続開催、周辺商店街との協業(最終的には南口北口一体)、イベント開催時に利用者アンケートを実施し、今後のイベント開催や商店街の活性化のために活用、女性や若手アイデアを取入れたイベントや研修会を開催していきます。

良品JAPAN

買える探せる繋がる

地域力活用市場獲得等支援事業中小企業販売力強化支援モデル事業
採択事業

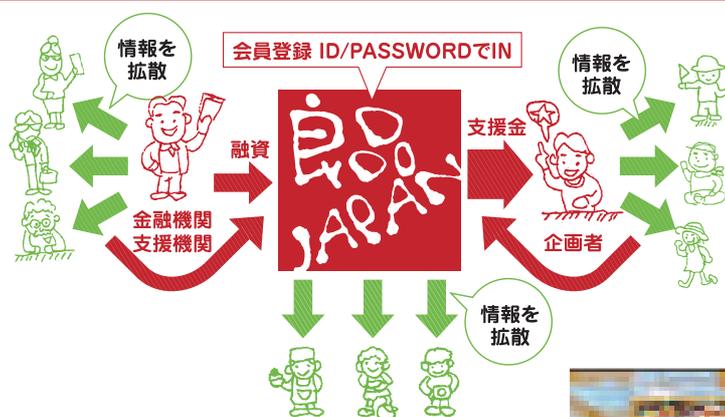
良品JAPANシステムは
日本全国の地域ブランドの商流のプラットフォームです

良品とは、
フード サービス ストーリー
地域の風土(FOOD)、おもてなし(SERVICE)、人(STORY)
などが見える化し、地元の人が創るブランドです。

良品JAPANとは、
「地域のでニッポンを元気にできる事業モデル」
地域ブランディングによりスピリッツを醸成し、
仕組みを構築することで実質的な
経済効果を創出することです。



プラットフォームを利用するキャストと相互関係



●石川県：別所岳サービスエリア「奥能登山海市場」



良品ジャパンシステムの提供のほか、サービスエリア内、店舗構築のトータルプロデュースとサインなどのデザイン制作

プレスリリース

ヤマナシ良品本部(山梨県甲府市下石田)

ヤマナシ良品はここから始まりました。山梨の隠れた逸品を山梨の地域ブランドへと育てるを目的とした「クロスオーバーカフェ」をオープン

山梨日日新聞掲載「クロスオーバーカフェオープン」



eveやまなし(クイーンズ伊勢丹横浜店内)

ヤマナシ良品の店舗展開のきっかけとなった双葉サービスエリア内での夏季期間限定ショップ

山梨日日新聞掲載「双葉サービスエリア:ヤマナシ良品」



eveやまなし(クイーンズ伊勢丹横浜店内)

クイーンズ伊勢丹横浜店内にワインを中心としたテストマーケティングショップ「eveやまなし」をOPEN

「地域良品」テスト販売 ニーズつかみ生産者に還元



山梨の逸品 PRを応援



ヤマナシ良品甲府駅前店(甲府駅前山交百貨店内)

山梨日日新聞掲載 「カフェオープン」



山梨日日新聞掲載 「バレンタイン販売」



山梨日日新聞掲載 「ロールケーキ販売」



山梨日日新聞掲載 「お歳暮販売」



プレスリリース

イベント販売・山梨県との連携販売

山梨日日新聞掲載
渋谷パルコ「地域PRイベント」



山梨日日新聞掲載
期間限定イベント「キッサニア」



山梨日日新聞掲載
期間限定販売「山梨逸品」



山梨日日新聞掲載
期間限定販売「やまなしサポーターズ」



地域と連携した商品の販促・開発・ポロチョース

山梨日日新聞掲載
「山梨限定デニッシュ」販促・販売



山梨日日新聞掲載
商工会女性部「寒干し梅」販促・販売



山梨日日新聞掲載
「山梨県主催：春の山梨日本酒イベント」イベント進行・販促実施



毎日新聞掲載
オリジナルブランド「ヤマナシ良品プレミアム」商品開発



(2)山梨県出身の大学生と連携した地域活性化事業

弊社では、独自または、地方公共団体などと連携して実施した、地域の商品の販売・啓蒙イベントにおいて、弊社がサポートする、山梨県内の高校を卒業し、東京都内や首都圏域の大学に在籍する大学生の自主的なコミュニティ（イーラ：E-La）と連携し、地域の活性化をテーマにした活動をしてきました。

.....

E-La【イーラ】：甲州弁で「いいでしょ？」山梨県出身で、東京などの首都圏に暮らす学生の集団
都会を経験し、悩みながらも山梨を愛し、山梨に誇りを見出そうと苦悶する学生チーム

E-La【イーラ】：甲州弁で推量の助動詞には「～ずら」「～ら」が良く使われる。「～でしょ？」という意味。

《古語の推量の助動詞「ずらん（ずらむ）」で、「～であるだろう」などの意味を表します。》

つまり、「～イイでしょ？」または「～イイかな？」といった意味で使われます。

EL-aの誕生

E-Laは、山梨県防災新館「やまなしプラザ」の自主イベントを企画することをきっかけとして発足した学生集団。当初のイベントでは、山梨県立大学の文化集団「ゲンブク（現代服装研究会）」とコラボレーションし、山梨古着マーケットと古着ファッションショーを開催した。さらに、山梨キッズカンパニーという地域の子供向けのイベントにも積極的に参加したり、山梨の物産などを首都圏で販売する各種イベントのサポーターとして活躍し、「山梨」という地域を活性化しようと頑張る山梨県人たちの強力なサポーターとして現在活躍している。

そんなE-Laだが、彼ら学生たちにとって、そんな「自ら考えるイベント」に参画するモチベーションとスピリッツは、単純にアルバイト代稼ぎで働く人たちとは比較にならないパワーが存在し、そのイベントの人手の確保に苦心するイベント者たちにとってそれは、紛れもなく新鮮な刺激になる存在である。また、学生たちにとって、就職前の社会を垣間見る体験からすれば、生まれ育った山梨ゆかりの「シゴト」であるが故に「気持ち」としての入れ込み方が変わってくるのも当然の結果である。

EL-a後援企業「Rolling-C」

そんなE-Laを後援しているのは、山梨のローカルブランディングを事業に据えている株式会社Rolling-C。E-Laとの連絡を始め、イベントのマネージメントなどを行い、山梨の地場産業や、その一翼を担うようなものづくりをシゴトとしている方々、また、各種支援団体などとのジョイント役になっている。

今般、Rolling-Cは、このE-Laの活動を、山梨の企業団体の方々のニーズとマッチングさせることを目的として、HPの立ち上げを企画している。ホームページは現状のメンバーの裾野を広げ、多くの学生たちと山梨の企業との有機的な関係を築くことが本来の目的である。

EL-aと連携したイベント



【山梨県産業労働部成長産業課主催：甲斐の国マルシェ2013】

新宿西口イベントスペースで開催
山梨の出展事業者のサポートで連携

全2日間



【Rolling-C独自イベント】JR東日本リテーリング「ecute大宮：おいしいふるさと」1週間
メンバー5名でシフトを組み、商品選択・販売・集計を担当



【山梨県産業労働部成長産業課主催：甲斐の国マルシェ2014共催イベント】
×Hakko（発酵）イベント（キッズカンパニー）
「シェフと一緒に冷製コーンスープをつくろう」の、とうもろこし畑見学
全3日間のイベントの運営で連携



【山梨県商工会連合会主催：沖縄おやじloveロックフェスティバル】物産展やまなしブース出展

全4日間のイベントの商品選択・販売・集計を担当



【Rolling-C独自イベント】日本百貨店 秋葉原「ちゃばら」OPENセール1週間
メンバー3名でシフトを組み、商品選択・販売・集計を担当



【全国県商工会連合会主催：東京ドーム全国物産展】やまなしブース出展
全4日間のイベントの商品選択・販売・集計を担当



【全国県商工会連合会主催：池袋サンシャイン全国物産展2013、2014】やまなしブース出展
両年共に全3日間のイベントの商品選択・商品企画・販売・集計を担当





【交通会館主催（50周年記念イベント）：有楽町地域物産展】やまなしブース出展
 山梨県商工会連合会のサポートのもとに
 イベントスケジュール・販売員シフト・商品企画・販売・集計の全てを担当

報道各位

山梨県出身の大学生が、地元山梨のオリジナルワインを企画し発売する情報です。
 報道情報としてご提供させていただきますので、ご賢察ください。

情報供給元(お問い合わせ)
 株式会社 Rolling-C 代表取締役 小沢珠美 phone.055-228-4125 fax.228-4135
<http://www.rolling-c.co.jp> <http://www.http://yamanashi-ryohin.com>

山梨県出身の大学生たちと
 山梨のワイナリー協力による
 ハーフワイン「エクラン」
 シリーズがプレデビューします。



2016年2月3日、株式会社Rolling-C運営「ヤマナシ良品premium」の
 横浜の地域産品アンテナショップ「eveやまなし」(横浜駅西口相鉄
 ジョイナスQueens伊勢月内)で、バレンタイン商戦をの目玉商品と
 して、新商品ワインが販売開始となりました。このワインは、山梨県
 出身で都内エリアに在籍する大学生の有志グループが中心となり、

「ヤマナシ良品premium」がサポ
 ートし、山梨のワイナリー各社の協力
 の元に商品化にこぎつきました。

同社の都内イベントなどを通して
 協力関係にあった、山梨活性化有
 志サークル「E-La【イーラ】」のメン
 バーの、「もっと山梨のワインに興
 味を持ってもらいたい」という思い
 の中「手頃なハーフサイズであるこ
 と」「飲みやすく美味しいこと」を
 基準にして「親しみやすく若年層に
 好まれるラベルデザイン」をコンセ
 プトに、山梨のワイナリーを訪問し
 ながら交渉を続け、今回の発売を迎
 えることができました。



Copyright and VisualIdentity © 2016 Rolling-C Co.,Ltd.All Rights Reserved

【EL-aの学生たちの自主参加のインターンシップ活動でオリジナルラベルのワインを企画・販売】
 参加した学生たちは、課題のオリジナルワインをマーケティングから取り組み、ネーミング・デザインを経て、横浜の自
 社アンテナショップで販売。売れ行き好調、現在でも販売中。

JR東日本グループと連携して開発した商品 Rail Bar

